



厚別区シンボルマーク



あつぎべい

2010年3月号

	2月1日現在 ()は前月比
厚別区の人口	129,142人 (+47)
男	59,591人 (+3)
女	69,551人 (+44)
人口・世帯数	世帯数 55,218世帯 (+44)

厚別区総務企画課広報係

編集
〒004-8612
厚別区厚別中央1条5丁目
TEL 895-2400 内線224~226
FAX 895-2403

厚別区民のページ



もつと知りたい、 厚別歴史の謎。

厚別人

書／映画監督 菅原浩志

平成二十年九月に結成された「厚別中央歴史の会」は、地域の歴史や古老の思い出話、伝承小話などをまとめた冊子作りに取り組んでいます。経営学博士の黒田重雄さんは、出身校である信濃小、信濃中の記念誌編集に携わった経験を生かして、同年十月から活動に参加しています。

理系、歴史に目覚める

「私は、理系人間で、『歴史は暗記もの』と思っていて、好きじゃなかった」と語る黒田さんが歴史に魅力を感じるようになったのは大学生時代。経営学の授業でビジネスの発端を調べていたとき、さまざまな文献などから謎解きのように過去を学ぶのを面白いと感じ、歴史というものに興味を持ったといいます。

「自分を育ててくれた大好きな厚別の地は、どんな人たちが、どんな思いで作り上げてきたのか興味がある」と話す黒田さん。厚別開拓の先駆者と言われる河西由造氏が、なぜ厚別に移住したのかを知りたくて、冊子でそのことを調べた記事を書きました。

厚別のルーツを訪ねて

執筆のために河西氏の出身地と言われている上諏訪（現在の長野県諏訪市）を訪れ、図書館で郷土資料を閲覧したり、河西と名前の付く店舗を訪ねてまわりましたが、謎を解く鍵には出会えませんでした。「平成二十二年には冊子の資料編を発行するので、現地の郷土史を学んでいる方と連絡を取り、再調査に行きます」と目を輝かせます。

厚別中央歴史の会

黒田 重雄

Profile (プロフィール)

くろだ・しげお
北海学園大学経営学部教授。担当科目はマーケティング・リサーチ。信濃小学校、信濃中学校卒業生で、記念誌の編集委員長も務めた。趣味は旅行、将棋。厚別区在住、70歳。



▲冊子は3月末発行予定。

「経営学は、過去のさまざまな事例の原因や結果がとても参考になる。生涯かけて歴史を学び、知識を深めたい」と熱く語る黒田さん。調べるほど知りたくなる黒田さんの限らない探究心は、厚別の歴史の謎に迫ります。

